

等々力陸上競技場第1期整備 に関する説明会

平成24年4月28日(土) 17時30分～
等々力陸上競技場北側サイドスタンド

川崎市建設緑政局等々力緑地再編整備室

電話044-200-2408 FAX 044-200-3979

メールアドレス 53todose@city.kawasaki.jp

1 はじめに

2 等々力緑地再編整備について

計画の策定にあたって

平成20年10月に「等々力緑地再編整備検討委員会」を組織し、

「等々力緑地再編整備方針」(H21. 5)

「等々力緑地再編整備基本構想」(H22. 5)

「等々力緑地再編整備基本計画」(H22. 10)

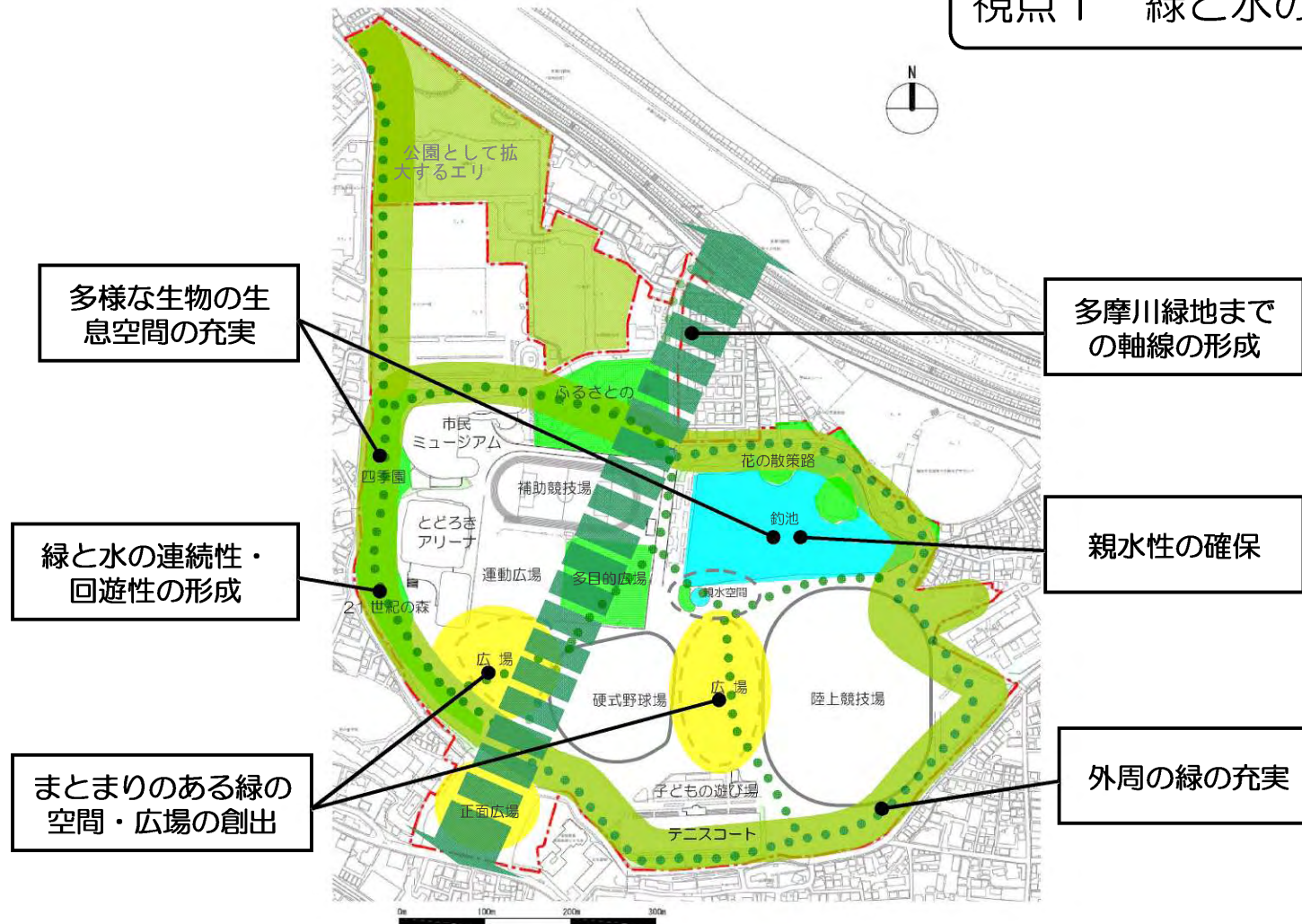
「等々力緑地再編整備実施計画」(H23. 3)

を策定してきました。

等々力緑地再編整備実施計画

緑地全体の再整備の方向性

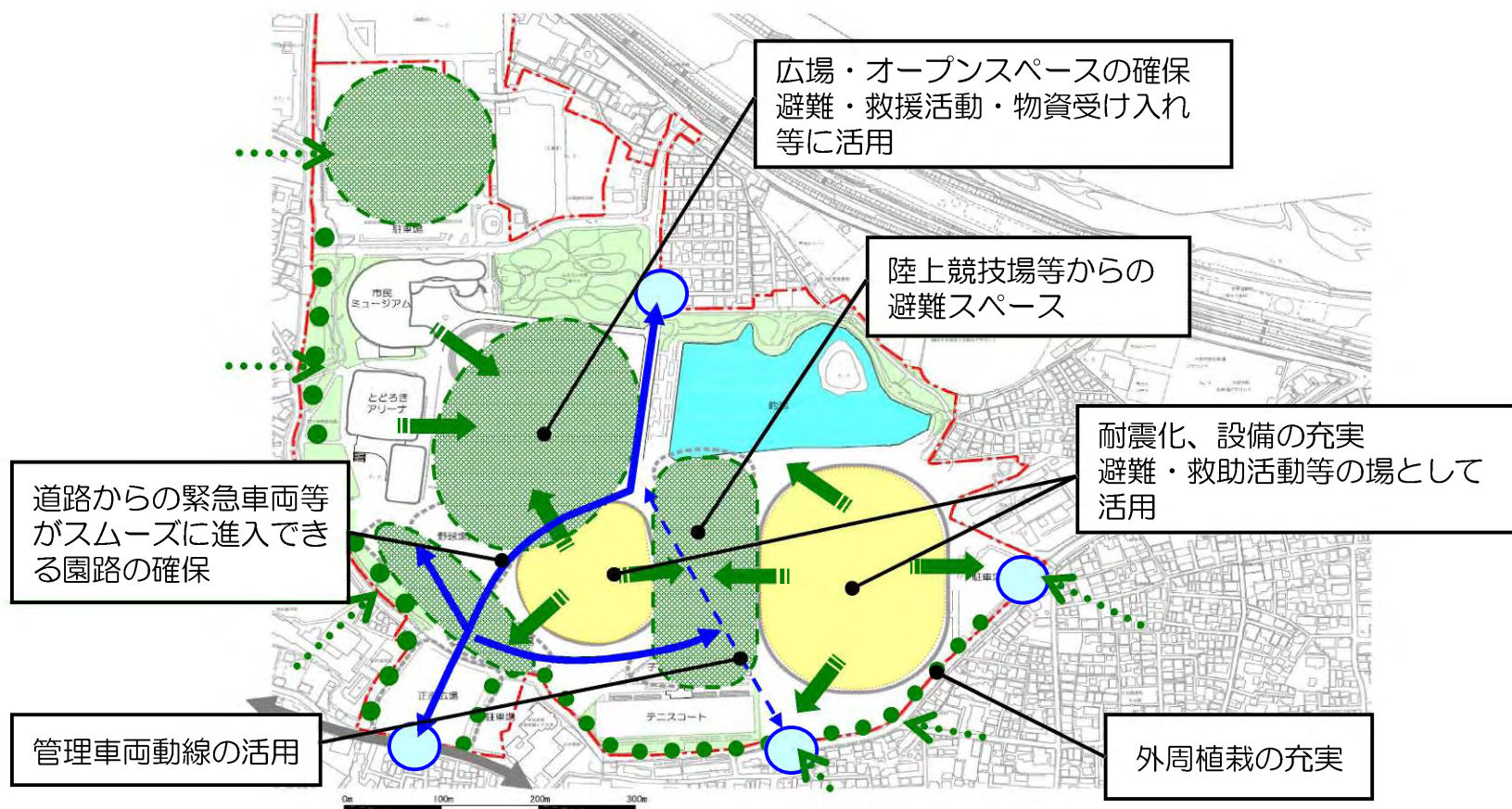
視点1 緑と水の再整備



等々力緑地再編整備実施計画

緑地全体の再整備の方向性













視点2 安全・安心の場の再整備

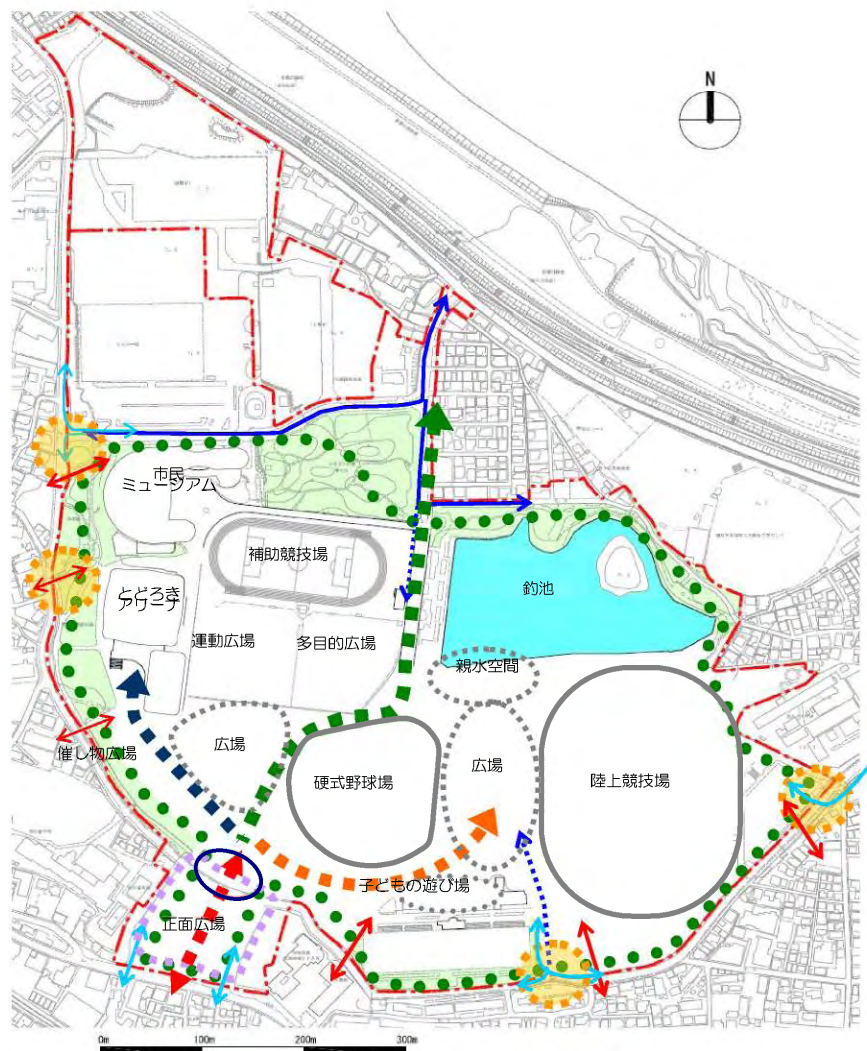


等々力緑地再編整備実施計画

緑地全体の再整備の方向性

視点3 緑地内動線の再整備

-  メインアプローチの動線
-  多摩川への動線
-  硬式野球場・陸上競技場への動線
-  とどろきアリーナへの動線
-  みどりの回遊園路
-  歩行者アクセス
-  自動車アクセス
-  自動車動線
-  自動車動線（管理車両）
-  主な立体化検討箇所
-  正面広場整備
-  サブエントランス



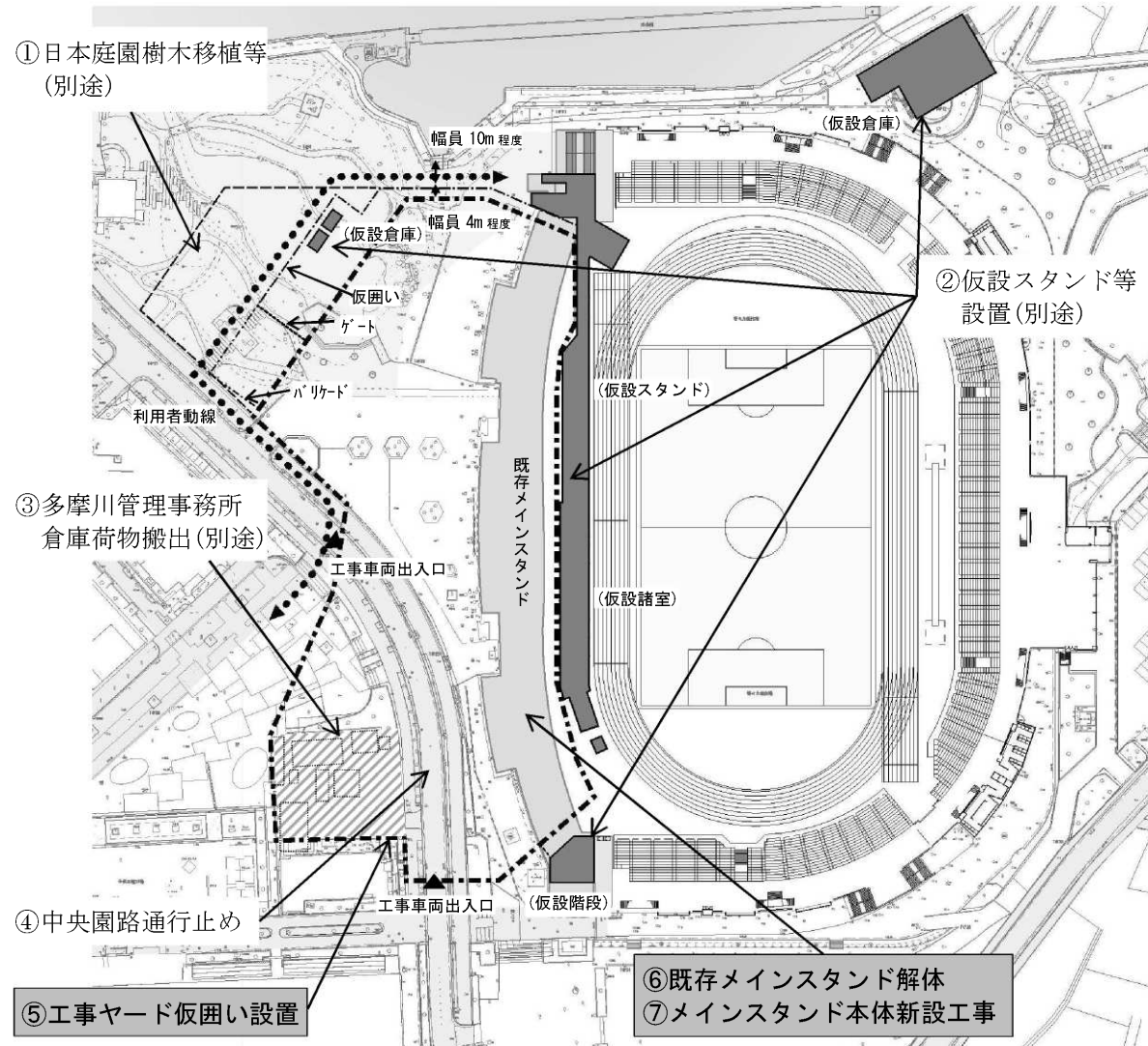
整備スケジュール

第3期実行計画期間

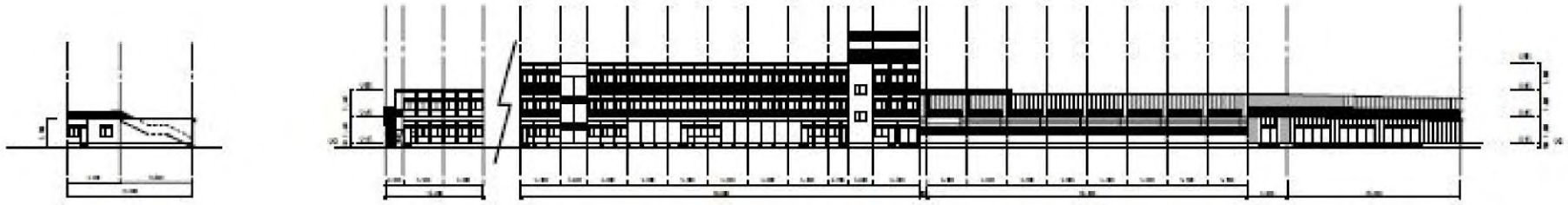
年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30以降 (2018以降)
サイト・スタンド 竣工から	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目	22年目	
サイト・スタンド・バックスタンドの 年度末市債残高見込	48億円	45億円	41億円	38億円	35億円	32億円	28億円	
陸上競技場	整備計画 策定	議会承認 ● 設計・手続 ● 仮設 ● 解体 ● 手続等 事業者 選定	第1期整備 (メインスタンド)	大型映像 装置設置	★ 事業評価	設計	第2期整備 (サイドスタンド・バックスタンド) ※事業評価を実施した上で、整備方針を決めていきます。	
硬式野球場		整備計画 策定	基本設計	実施設計	解体	硬式野球場整備		
広場等			基本・実施 設計	競技場と硬式野球場 の間の広場整備				
		基本設計	実施設計	正面広場整備 臨時バス停車スペースの確保				
デッキ		基本設計	実施設計	競技場メインスタンド 外周歩行デッキ整備		硬式野球場・正面 広場周辺デッキ整備	競技場サイト・スタンド・バックスタンド 外周デッキ整備	

3 等々力陸上競技場第1期整備について

(1)平成24年度の整備について

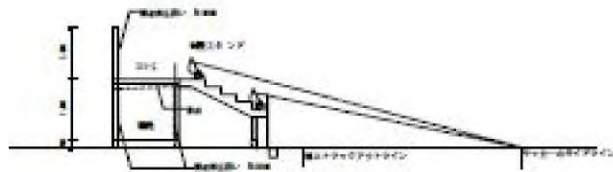


仮設スタンド立面図

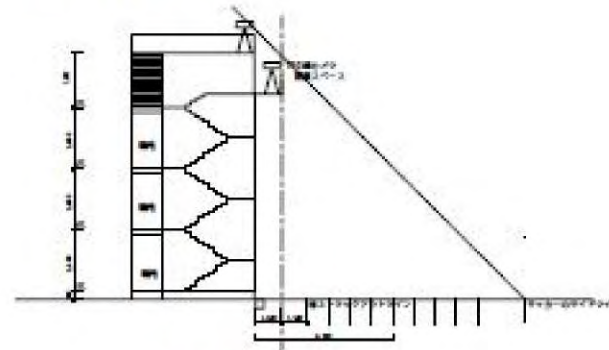


立面図 (新設階段)

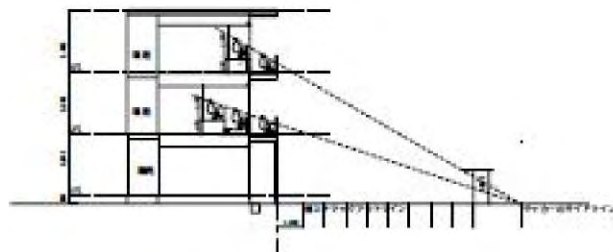
立面図 (事務所棟ほか)



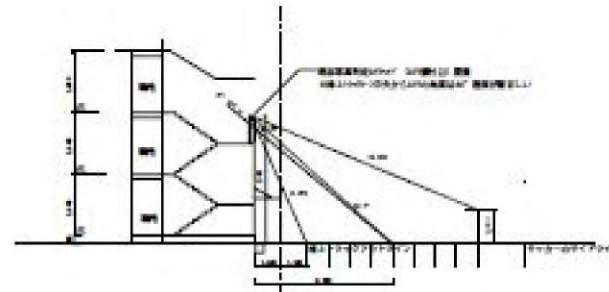
断面図 1



断面図 2



断面図 3



断面図 4

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 「等々力陸上競技場メインスタンド改築工事」の特徴

- 工事期間中も陸上競技場として継続使用
(工事ヤード、利用者動線、設備等切回しの調整が必要)
- 大屋根・スタンド整備に高度な建築技術
(設計段階から施工上課題を踏まえた合理的な設計が必要)



民間技術の持つ固有技術やノウハウを活用するため・・・

設計と施工を一括で発注

限られた予算の中でよりよい提案や選考の確実性をより確保するため・・・

総合評価一般競争入札【標準型】

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 発注内容

(1) 既存メインスタンド解体

(2) メインスタンド設計

(3) メインスタンド本体工事

※ 工事期間中も陸上競技大会及びＪリーグの試合等を同競技場で開催するため、別途発注で仮設スタンド等の設置を行います。

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 要求水準

○要求水準とは・・・発注者が求める成果



仕様や施工方法などの民間企業のノウハウを活用し実現

○主な要求水準 **文章**

- ・ 施設規模は入場可能数10,000席以上
 - ・ 観客席上部全てを覆う屋根
 - ・ 更衣室や記者会見室等の競技場に必要諸室
 - ・ 多目的に1,000名程度が利用できるスペースを確保（来賓ラウンジ等）
 - ・ 災害時の活動拠点
 - ・ 環境配慮技術
- など

事業者は全て
満たさなければ失
格

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 事業者選定

○評価基準・・・要求水準の中から、事業者の創意工夫が発揮しやすい項目や今回の整備で重要な項目を中心に設定

○評価項目

事業者の
工夫のしどころ

- ①ランニングコストの低減、②動線計画等の確保、③景観への配慮、
- ④競技環境の配慮、⑤将来の段階整備の配慮、⑥公園施設機能の充実、
- ⑦魅力的な観戦環境の整備、⑧見やすさの確保、
- ⑨エバーグリーンデザインの取組、⑩防災面への配慮、⑪環境配慮技術の導入、
- ⑫長寿命化対策、⑬地域への貢献、⑭公園利用者への配慮、
- その他（上記評価基準小項目以外で実現可能性があり、魅力や機能向上に資する提案を行うことは可とする。）

点数と工事費を総合的に勘案して事業者を決定

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ これまで皆さんからいただいた意見は・・・

○要求水準や評価基準の中に概ね反映しています。

例えば、「メインスタンドへの屋根がない」は

整備するものである。) また、その他、必要と思われる諸室、スペースや設備等があれば提案することができる。

(エ) 屋根は、芝の育成環境を確保しながら、全ての観客席を覆うこと。

(オ) 座席 (ヒーティングシステム等) など快適性や多様な席種 (ファミリーシートなど) 魅力的な観戦環境を工夫して整備すること。

要求水準

評価基準

	⑥	充実	設として活用される工夫がされているか	2.0	37.0
利用者へ	⑦	魅力的な観戦環境の整備	屋根、座席(ヒーティングシステム等)など快適性や多様な席種(ファミリーシート等)など魅力向上の工夫がされているか	6.0	
	⑧	目録上の物品	スタンドはグラウンドまで近く、適切な傾斜を確保	6.0	

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

「快適に観戦できる座席を増やしてほしい」は

要求水準

は、「参考資料 ③仮設スタンド等計画図」に示すとおり。

オ メインスタンドは、将来の段階整備の配慮として、第2期整備後の競技場全体で入場可能数 35,000 席を前提とした設計・動線計画とし、全体バランスの中で入場可能数 10,000 席以上の確保、設備等の設置、その他工夫を講じること。

カ アプローチ動線として、観客は、競技場前の広場を待機列等のたまりの場として利用し、

評価基準

④	競技場内の配慮	風の風に対する配慮がされているか	3.0
⑤	将来の段階整備の配慮	サイドスタンド・バックスタンド整備に配慮した工夫がされているか	4.0
⑥	公園施設機能の	大会・試合を開催していないときでも公園施	3.0

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

「フィールドの近さ」は

要求水準

(オ) 座席（ヒーティングシステム等）など快適性や多様な席種（ファミリーシートなど）魅力的な観戦環境を工夫して整備すること。

(カ) スタンドはグラウンドまで近く、適切な傾斜を確保し、グラウンド全体の見やすさを確保すること。

(キ) グラウンドからスタンドまで直接アクセスできる表彰用の動線が確保できること。

評価基準

利用者への配慮	⑦	境の整備	様々な席種（ファミリーシート等）など魅力向上の工夫がされているか	6.0
	⑧	見やすさの確保	スタンドはグラウンドまで近く、適切な傾斜を確保した計画となっているか	6.0
	⑨	ユニバーサルデザイン	誰もが使いやすくなるような工夫がされているか	3.0

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

「こどもや女性にやさしいスタジアムに！」は

要求水準

のとすること。

- (ウ) ユニバーサルデザインの観点から、誰でも安全かつ快適に利用しやすい施設に配慮すること。(おやこトイレ、パウダールーム、授乳室や難聴者の聴覚を補う設備設置など)
- (エ) 大会・試合を開催していないときでも、競技場が活用される工夫をすること。

評価基準

その他	ユニバーサルデザインの取組	誰もが使いやすくなるような工夫がされているか	3.0
その他	その他	上記評価項目以外で 評価されるもの	4.0

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

「来場者が大混雑して危険である」は

基本とすること。

要求水準

キ 競技場利用者(観客、競技者、メディア、来賓、運営、業者等)の明確なゾーニングと動線計画を行うこと。特に、観客の歩行空間については、将来の段階整備も配慮しながら、人が集中しても安全で円滑な動線を確保するため、十分な幅員・数量や適切な形態・設備とすること。

ク グランド上の芝生育成やトラック上の風対策を講じるなど、競技環境に配慮すること。

評価基準

	減	るか	点	点
②	動線計画等の確保	観客、競技者、メディア、来賓、運営等の動線・ゾーニングが適切に設定されているか	3.0	
③	景観への配慮	圧迫感の低減など緑地内の拠点施設として景	6.0	

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 契約スケジュール（予定）

平成24年

○3月26日 入札公告【済み】

○6月中旬 技術提案受付

○7月上旬 川崎市総合評価審査委員会

○7月下旬 落札者決定、結果公表、仮契約

○9月 議会 工事議案上程

○10月 本契約

○以降 基本設計・実施設計

等々力陸上競技場メインスタンド改築に向けて

■ 工事工程（予定）

平成24年

○12月～ 仮設スタンド等設置工事（平成25年3月 完成）[別途工事]

平成25年

○4月～ 既存メインスタンド解体工事

○9月～ メインスタンド本体工事

平成27年

○2月上旬 メインスタンド引き渡し

○6月 完成

別表 2

「総合評価落札方式技術評価項目配点表」

項目				評価基準	配点		
分類	評価項目	大項目	小項目	主な評価の視点			
技術提案	総合的なコストに関する提案	トータルコスト	①	ランニングコストの低減	ランニングコストの低減を考慮した計画となっているか	5.0	5.0
			工事目的物の性能に関する提案	建築計画	②	動線計画等の確保	観客、競技者、メディア、来賓、運営等の動線・ゾーニングが適切に設定されているか
	③	景観への配慮			圧迫感の低減など緑地内の拠点施設として景観に配慮されているか	6.0	
	④	競技環境の配慮			フィールド内の芝生育成への配慮やトラックの風に対する配慮がされているか	3.0	
	⑤	将来の段階整備の配慮			サイドスタンド・バックスタンド整備に配慮した工夫がされているか	4.0	
	⑥	公園施設機能の充実			大会・試合を開催していないときでも公園施設として活用される工夫がされているか	2.0	
	利用者への配慮	⑦		魅力的な観戦環境の整備	屋根、座席(ヒーティングシステム等)など快適性や多様な席種(ファミリーシート等)など魅力向上の工夫がされているか	6.0	
		⑧		見やすさの確保	スタンドはグラウンドまで近く、適切な傾斜を確保した計画となっているか	6.0	
		⑨		エバーサルデザインの取組	誰もが使いやすくなるような工夫がされているか	3.0	
	その他	その他		上記評価項目以外で、評価されるもの	4.0		
	社会的要請に対応した提案	防災		⑩	防災面への配慮	防災面に配慮した計画となっているか	3.0
		環境	⑪	環境配慮技術の導入	太陽光発電、地中熱利用など複数の技術を効率的・効果的に導入しているか	6.0	
		長寿命化	⑫	長寿命化対策	長寿命化を考慮した計画がされているか	2.0	
		地域への配慮	⑬	地域への貢献	地域経済等へ貢献しているか	2.0	
		使いながら工事	⑭	公園利用者への配慮	工事期間中の安全対策や工期短縮など公園利用者へ配慮した計画がされているか	6.0	
		その他	その他	上記評価項目以外で、評価されるもの	4.0		
	企業の施工能力	同種工事の施工実績(過去14年間)	平成9年4月1日以降に完成し、引渡し完了した同種工事実績の中から1件記入してください。 ※1		提出のあった工事実績が、本市発注の同種工事の元請としての施工実績である。	3.0	3.0
					提出のあった工事実績が、本市発注以外の同種工事の元請としての施工実績である。	1.5	
					実績なし(入札参加資格としている場合には入札無効)	0.0	
		本市工事成績評定点の平均点(過去3年間)		※工事成績評定点の平均点は、入札参加申込締切日時点に「業者登録システム」→「登録情報を照会する」→「登録内容確認(今年度)」に表示された平均点とします。		同工種における平均が80点以上	3.0
					同工種における平均が75点以上80点未満	2.5	
					同工種における平均が70点以上75点未満	2.0	
					同工種における平均が65点以上70点未満	1.0	
	同工種における実績なし	0.0					
	同工種における平均が65点未満	△1.0					

	本市優良業者表彰回数 (過去5回)	(入札参加申込締切日時点の本市登録情報による)	あり	0.5	0.5
			なし	0.0	
	ISO9001又は14001の取得状況	(入札参加申込締切日時点の本市登録情報による) ※2	あり	0.5	0.5
			なし	0.0	
配置予定技術者の能力	配置予定技術者の同種工事の施工経験 (過去14年間)	配置予定技術者の同種工事経験について記入してください。平成9年4月1日以降に完成し、引渡しが完了した工事の中から1件記入してください。※1、※3 この様式は総合評価落札方式における配置予定技術者届になりますので、同種工事の経験が無い場合でも、必ず提出してください。	同種工事にて主任(監理)技術者として経験あり	3.0	3.0
			同種工事にて現場代理人として経験あり	1.5	
			経験なし	0.0	
	配置予定技術者の本市発注の従事工事における成績評定点 (過去3年間)	配置予定技術者が監理(主任)技術者として従事した平成20年4月1日以降に完成し、引渡し完了した本市発注の同業種の工事を記入してください。 ※4	提出された同業種工事が本市発注の工事であり、その成績が80点以上	3.0	3.0
			同上、その成績が75点以上80点未満	2.5	
			同上、その成績が70点以上75点未満	2.0	
			同上、その成績が65点以上70点未満	1.0	
			同上の実績なし	0.0	
企業の信頼性・社会性・地域性	災害時における本市との協力体制	(入札参加申込締切日時点の本市登録情報による) ※2	本市と災害時における応援に関する協定等を締結している又は締結している団体に加入している	0.5	0.5
			同上無し	0.0	
	障害者の雇用状況		「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき雇用状況の報告を義務付けられている事業者で法定雇用率を達成している又は義務付けられている事業者以外で障害者を常雇用している	0.5	0.5
			同上無し	0.0	
	建設業労働災害防止協会の加入状況		建設業労働災害防止協会に加入している	0.5	0.5
			同上無し	0.0	
	男女共同参画		次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」を策定している	0.5	0.5
			同上無し	0.0	
配点合計				80.0	
設定加算点				80.0	

※1 記載した工事経験を証明する書類（工法(規模)等の確認ができるもの）を添付してください。（例：コリンズ竣工時カルテ受領書等）

※2 入札参加申込締切日現在、該当する主観評価項目の登録条件を満たしていること、また、同項目について、入札参加申込締切日時点で登録されていることが必要です。川崎市内に本社又は事業所がない事業者については、主観評価項目の登録対象ではありませんが、7号様式に代えて、登録に必要な書類（主観評価項目実施要綱・要領参照）を案件ごとに提出すれば、総合評価一般競争入札上、評価対象となります。

※3 実際の施工にあたって、資料に記入した配置予定技術者を変更できるのは、死亡、傷病、退職等の特殊な場合に限りです。

※4 工事成績評定点が証明できる書類を添付してください。